

秋の夜長に。その時、株式とコモディティで利益を狙う！

2017年10月20日
ビジョンセンター東京

弊社主催の資産運用セミナーを開催致しました！



第1部 東証一部 2027 銘柄をご紹介します

第1部は、弊社講師による講演を行いました。今回は、週足トレンドについて解説させていただきました。最初に一目均衡表の解説をしました。一目均衡表とは、一目山人が延べ2000人のスタッフとおよそ7年の歳月をかけて完成させた相場分析手法です。他のテクニカル分析との大きな違いは、時間軸を予測することです。その中でも買いに適したサインの、三役好転があります。

また東証一部 2027 銘柄を週足の移動平均線5週・13週・26週で見た時の今後の予想をし、今回は特別に弊社が分析した注目の銘柄を紹介させていただきました。その中でも特に注目すべき企業を4つに絞り、会社概要やチャートをもとに紹介させていただきました。最後に、弊社が得意分野としている商品先物のお話もさせていただきました。



第2部 年末相場を見通す小型株相場は来年も続くのか？

第2部は、株式アナリスト鈴木一之先生による講演を行いました。

2017年3月期の上場企業の決算が、2年ぶりに最高益を更新しました。12円の円高を克服し、また1555社のうち、3割の461社が最高益となりました。その理由を今回解説させていただきました。

理由といたしまして、製造業や為替変動への耐性をつけたことや、輸出企業の採算ラインが変化したこと、内需企業の比率が高まったこと、最後に世界景気の拡大の寄与があります。これらの理由とグラフを交えて解説させていただきました。講演の最後に、今後の株取引での注目銘柄の紹介がありました。



講師紹介 株式アナリスト 鈴木 一之氏



1961年生まれ。83年千葉大学人文学部卒業後、大和証券に入社。株式トレーディング室にて一貫して株式トレードに従事。歴史に残る数々の相場の転換点を現場の最前線で体験。2000年よりインフォストックドットコムに場を移し、日本株チーフアナリストとして相場を景気循環論でとらえるシクリカル銘柄投資法を展開。テレビ、ラジオ、新聞、経済誌など多方面で活躍中。著書に「景気サイクル投資法」「有望株の選び方」などがある。



会場にお集まり頂いた皆様、ありがとうございました。

株式会社さくらインベストは今後も定期的に、投資家の皆様のお役に立てていただけるようなセミナーの開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。